

事後評価結果（平成19年度）

担当課：兵庫県街路課
担当課長名：樋口 孝

事業名	都市計画道路 <small>いまづにしせん</small> 今津西線	事業区分	街路	事業主体	兵庫県
起終点	自：兵庫県西宮市芦原町 <small>にしのみやしあしはらちよう</small>	至：兵庫県西宮市森下町 <small>にしのみやしもりしたちよう</small>	延長	0.217km	

事業概要

都市計画道路今津西線は、西宮市南部の今津港を起点とし、中心市街地を経て北部の住宅地に至る西宮市内の南北幹線道路である。本事業において、道路拡幅及び電線共同溝の整備を行った。

事業の目的・必要性

本工区の整備により、車道拡幅、右折レーンの設置による交通渋滞の解消、歩道整備による歩行者・自転車の安全性の向上、電線共同溝の整備による良好な街並みの形成が図られた。

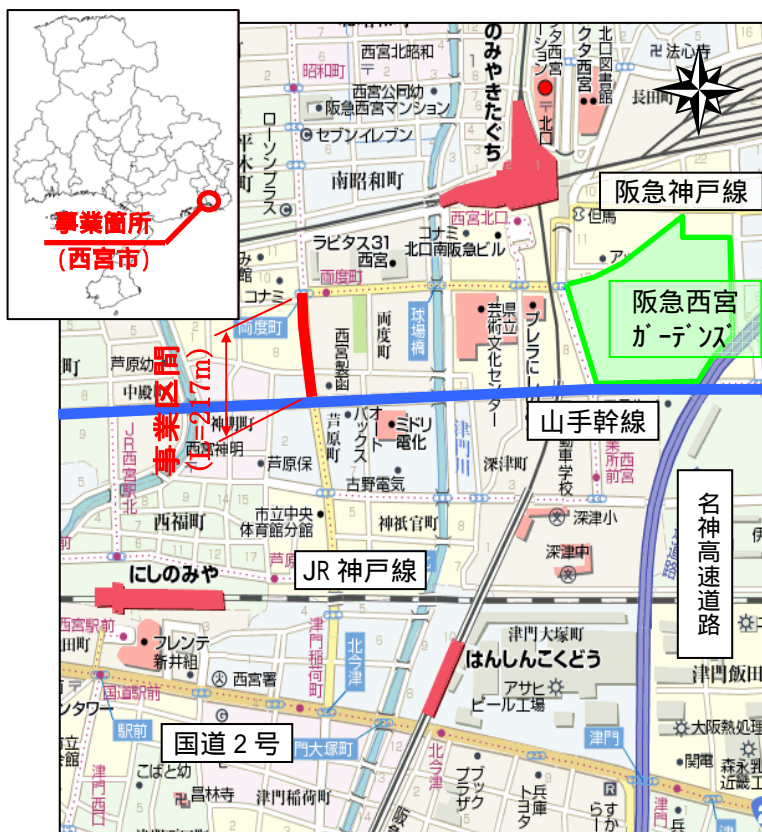
事業概要図

【事業位置図】

【事業概要】

H15～H18、L=217m、W=16m
事業費約 400 百万円

【完成写真】



事業の 効果等	事業期間	事業化年度	平成15年度	用地着手	平成15年度	供用年	(当初)平成17年度	変動	- 倍
		都市計画決定	昭和37年度	工事着手	平成16年度	(暫定/完成)	(実績)平成18年度		
	事業費	計画時	(名目値)	- / 3.5 億円	実績	(名目値)	- / 4.2億円	変動	1.21倍
		暫定/完成	(実質値)	- / 3.3 億円	(暫定/完成)	(実質値)	- / 4.0億円		
交通量 (当該路線)	計画時	(H42)		実績	(H19)		変動	122 %	
	暫定/完成	- / 8,000台/日		(暫定/完成)	- / 9,764台/日				
旅行速度向上 (供用前現道 当該路線)	15.4	30.3km/h	(供用直前年次)H11年度		(供用後年次)H19年度		交通事故減少 (供用前現道 供用後現道)	-	- 件/億台キロ
費用対効果 分析結果 (当初)	B / C	総費用	- 億円	総便益	- 億円	基準年	-	年	
		事業費	億円	走行時間短縮便益	億円				
		維持管理費	億円	走行経費減少便益	億円				
				交通事故減少便益	億円				

費用対効果分析結果(事後)	B / C 6.0	総費用 4.0億円 事業費： 3.9億円 維持管理費： 0.14億円	総便益 24億円 走行時間短縮便益： 24億円 走行経費減少便益： 0.50億円 交通事故減少便益： 億円	基準年 H18年
事業遅延によるコスト増	-	費用増加額 - 億円	便益減少額 - 億円	
事業遅延の理由 用地取得の難航				
客観的評価指標に対応する事後評価項目				
【旅行速度の改善】 (H11年度) (H19年度) 15.4km/h 30.3km/h (+14.9(km/h) 約2.0倍に向上)				
【大気汚染物質】 CO2：293(t-co2/年) 193(t-co2/年)				
【都市計画道路密度の変化】 3.3(km/km2) 3.5(km/km2)				
【歩行者・自転車交通量】 151(人/12h) 375(人/12h) (+224(人/12h) 約2.5倍に向上) 375(台/12h) 1,009(台/12h) (+634(人/12h) 約2.7倍に向上)				
【歩道が設置された区間の延長】 (片側) (両側) 217(m) 217(m)				
その他評価すべきと判断した項目 広幅員歩道の設置及び電線類の地中化により安全で快適な歩道空間が確保された。				
事業による環境変化	環境影響評価に対応する項目 事業実施前の環境影響評価実施無し			
	その他評価すべきと判断した項目 -			
事業を巡る社会経済情勢等の変化 特になし				
今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性 平成20年秋に開業予定である日本最大級の商業施設「阪急西宮ガーデンズ」が開業すれば、周辺の交通の流れが大きく変わることが予想されるため、その後に再度、実施する必要があると思われる。				
計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 特になし				
特記事項				

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。